



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

##### ①「食と環境プロジェクト」

【1学年】「さつまいもを育てよう」5月～10月 1年生29人 地域の野菜名人1人

【2学年】「ミニトマトを育てよう」5月～7月 2年生27人 地域の野菜名人2人



地域の野菜名人に指導していただきながら、さつまいもやミニトマトの栽培に取り組み、育てる苦労や、収穫する喜びを感じることができた。またスイートポテトパーティーや野菜パーティーを通してみんなで栽培し収穫したものを食べる喜びを感じることができた。

【3学年】「野菜マスターになろう」5月～2月

3年生15人 地域の野菜名人1人

場所 御休小学校学級園 地域の畑

1学期は、地域で野菜づくりをされている農家の畑を見学し、農家の方に野菜の育て方を教わった。そして、いろいろな野菜について図書館の本などを利用して育て方を調べた。また、学校の畑にサツマイモを植えて、観察したり世話をしたりして育てた。2学期は、子ども一人一人が自分で育てる野菜（マイ野菜）を決め、自分の力でそれぞれ育てることに挑戦した。そして、収穫したサツマイモはPTA活動で、マイ野菜はパーティーをして、それぞれ調理しておいしく食べた。この活動を通して、農業をする大変さや喜び、大切さに迫ることができた。



【4学年】「ホタル博士になろう」9月～10月

場所 吉井川沿い用水路(岡山市東区寺山)

4年生31人 岡山県吉井川下流改良区職員6人

9月に、図書館の本を使ってホタルの生態について調べた。ホタルがさなぎで光ることや、約300個の卵を産卵することなどに気付いた。その中で、ホタルが育つには、きれいな水質や産卵に必要な水草が必要なことも知った。そして、10月6日に、吉井川下流土地改良区の方々と、ホタルの幼虫とその餌になるカワニナを放流し、川のゴミ拾いをした。子どもたちは、自分たちができることを考え、「ホタル新聞」にまとめた。新聞は、10月の参観日に掲示し、保護者や地域の方々に「自分たちの地域の環境を守ろう」と呼びかけることができた。



【5学年】「地域の農家を訪ねよう」4月

「稲を育てよう」5月～11月

「食料自給率と食生活」9月～12月 場所 近隣の農家 学校田「田ンボリン」  
5年生24人、野菜名人4人、食農体験事業の講師の方々

4月に、水耕栽培を行う近隣の農家へ見学に行き、農家の方の最新の技術や工夫・苦労などについて学習した。食農体験事業の講師の方々の指導と協力のもと、田植えや稲刈りなどを体験した。日本の食料自給率など、現在日本が抱える食生活および農業の課題について、JAの資料を中心に使いながら児童ごとのテーマにそって探究する活動を行い、自分自身の生活を考えることができた。



## ② 「地域の歴史・文化プロジェクト」

【3学年】「昔の暮らし」2月 3年生15人、地域交流委員5人

社会科の学習内容を発展させ、自分たちの地域では、昔どんな生活をしていたのか、祖父母や地域の方にインタビューしたり、昔使っていた道具が家にあれば、デジタルカメラで撮影したりした。

また、実際に炭火おこし体験をすることで、昔の人々の様々な工夫に気づき、昔の人々が環境にやさしい生活をしていたことを理解することができた。



【4学年】「備前焼について学ぼう」11月～2月 4年生31人、地域の備前焼作家2人

備前焼について調べ、備前焼きに対する興味を深めた。地域の備前焼作家の指導で、備前焼の粘土で器や箸置きを作り、乾燥させ、藁を巻いて窯詰し、学校の電気窯で焼成した。備前焼が地域の優れた伝統工芸であることに改めて気づき、大切にしたいという思いをもつことができた。



【6学年】「御休歴史探検隊」4月～11月 6年生23人

地域住民多数

場所 浦間茶臼山古墳、吉井の水門、宇喜多直家生母の墓、御休宮池公園

御休学区には、浦間茶臼山古墳や吉井の水門、宇喜多直家生母の墓などの歴史遺産があり、自分たちの足で歩いて見学し、インターネットや図書でより詳しく調べることにした。

調べたことをグループでパネルにまとめ、毎年地域で行われる「御休のつどい」で多くの地域住民の方々の前で発表し、自分たちも地域を大切にしていきたいという思いを伝えることができた。



### ③「ふれあいプロジェクト」

#### 【1学年】「ようちえんの子となかよくなるう」

4月～1月 1年生29人 御休幼稚園児16人  
隣接する幼稚園の園児と、「れんげ摘み」「みやすまつり」「ざりがにつり」「学習発表会」「とんど」「体験入学」「交流給食」など楽しく交流した。「みやすまつり」では、幼稚園の子とペアになり学校を案内したりゲームの説明をしたりすることができた。年間を通して交流を繰り返すことで、園児の気持ちや行動に合わせて声かけをすることができるようになった。



#### 【1・2学年】「昔遊び体験」H28年1月8日

1年生29人, 2年生26人  
地域交流学习委員10人, 御休幼稚園年長組6人  
お手玉・まりつき・囲碁・将棋・こま回し・けん玉・おはじき・あやとりといった昔遊びを, 地域交流学习委員会の方や地域の方から教えていただいた。地域の方々が子どもたちの健全な育ちを願っているのを感じながら, 楽しく昔の遊びに親しむことができた。また, 習った遊び方を幼稚園の人に教えてあげることで, さらに思いやりの心を育てることができた。



#### 【4学年】「ともに生きる」10月 4年生31人

高齢者介護施設の方々

図書館での調べ学習で点字や手話, 福祉などに興味をもち, 高齢者体験に取り組んだ。手にごわごわの手袋をして肩に2リットルのペットボトルを掛け, 片膝を新聞紙で固定し, 黄色いサングラスを付け, 子どもたちは階段の上り下りを体験した。高齢者の方々がどんなに大変な思いで過ごしているのかを学ぶことができた。これらの体験から, 障害のある方の思いを意識して, 相手を尊重して行動していこうとする気持ちが芽生えてきた。



高齢者介護施設訪問では, 高齢者を労わってリコーダーと手紙をプレゼントして, ふれあうことができた。

#### 【6学年】「平原小学校に御休のよさを伝えよう」 1・2学期 6年生33人

昨年度から大牟田の平原小学校と学校間交流が始まっている。昨年度は, 教師間で交流を行ったが, 本年度は6年生同士でお互いの学校や地域の様子を知らせ合う活動を行った。子どもたちは, ビデオレターを交換したり, 調べたことを新聞やパンフレットにして送ったりする中で, 何をどのように伝えたら相手にわかってもらえるかを考えながら活動することができた。

この交流の中で, 改めて自分たちの住む地域のよさを見つめたり, 自分たちとは異なった地域の様子を知ることができた。



